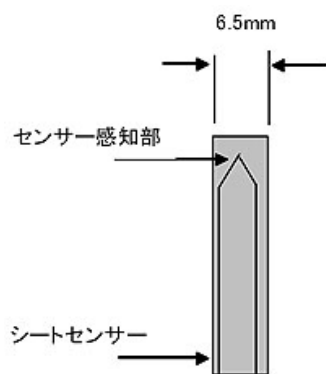


ST50K型 温度センサーキット

- 表面温度の測定に便利なシート状センサーです。(CA-K型です)
- センサーは、測定物に接着して使用します(BGAの表面や基板の表面)
- 専用リードにセンサーを取り付け、リワーク装置の端子へ接続できます。
- 付属の耐熱テープで、更にセンサーをしっかりと固定することができます。
- 繰り返し、使用できます。
- センサー部の長さは標準で300mmです、基板の裏側にも装着できます。

センサーの概要

CA型熱伝対センサーは、2種類の金属接合部(クロメル(C)とアルメル(A))に温度の変化を加えると、電圧の変化が得られる原理を利用したものです、ST50型シート状センサーは、その先端部にCAの接合部がありますので、その部分が温度を検知します、測定する際には、必ずセンサー先端部が目的の位置にあるようにしてください。



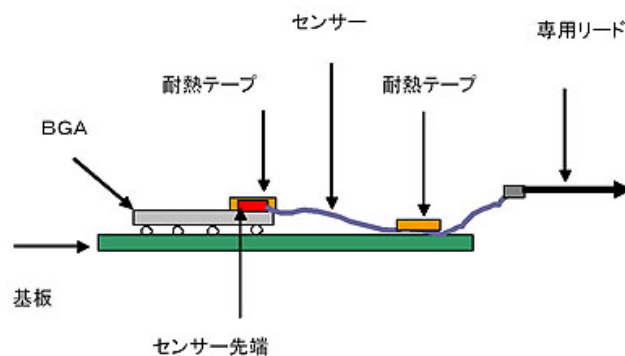
ST50K型
センサーキット



ST50-300 センサー

センサーの取り付け

センサー先端部には接着剤が付いていますが、付属の耐熱テープを使って、確実に非測定物に密着させてください、センサー先端部が動かないよう、図のように耐熱テープで補助固定をするようお勧めします。



センサー使用上のご注意

センサーが非測定物に完全に接触されていることが重要です、通常測定カーブが細かく振れている場合、センサーが非測定物に密着していないことが原因となっているようです、負荷の熱容量の大きさでも異なりますが、なだらかな安定した曲線が得られるようセンサーを密着させてご使用ください。

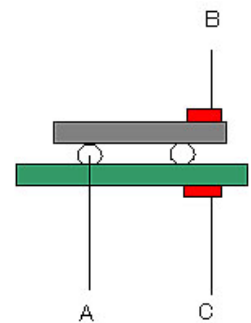
標準構成 ST50Kセンサーキット

項目	仕様
センサーST50-300	CA-K 0.35t x .67W x 300mm x 5 本
測定温度	0---300 °C
専用ケーブルST50-1	1M x 5 本
接続	専用クリップ+CMPコネクタ
耐熱テープST50-2	12Wmmx10M x 1 巻
熱電対	CA-K 50 μ

改良などの理由により、概観、仕様が変更される場合があります。

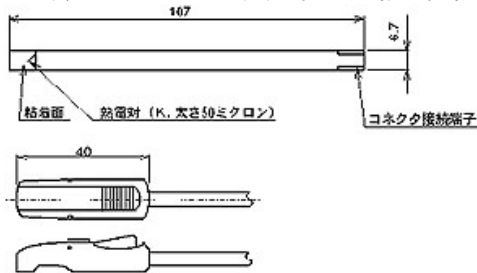
温度測定

BGAでの温度測定は、図のAがベストですが通常リワーク作業ではその部分にセンサーを取り付けられません、MS9000SANリワーク装置では、Bでの測定でITTS運転しますが、BがほとんどAの温度に等しくなるように自動的に演算して動きます。ITTS運転に際して、Cにもセンサーを貼り、BとCの温度曲線を監視すれば安心です、BとCの温度差内にAの温度が有るからです。



特別センサー

ST50-100型センサーは、長さが107mmです、5本入り1箱で供給いたします。



ST50-100
センサー